



# MCO RACING Competition

■ 新井選手のラリーマシン、フジスバルアライモーター スポーツ WRX が装着するのは「MCO RACING Competition」. WORK からリリースされている MCO RACING Type GS をベースに、欧州でのレギュレーションに準拠と、小写やアセットを改良したモデルだ。両者とも構造は共通だが、WORK 独自の WFT (フォーミングテクノロジー) で経路化とリム強度や剛性のアップを実現。なお、このホイールは新井選手が運営するショップ「アライモータースポーツ」(<http://www.araimotorsport.com>)でも販売されている。

MCOレーシングホイールは、コンペティション仕様。より多くのサイズも用意中。



世界的レーサー二人による対談は、1月末に横浜が数々のマシンを輩い出している。このアライモーターショップで行われた。左から右へ、新井選手のEarth-Runnerマシンである「Earth-Runner」はもちろんだが、新井選手とアライモーターが、現在進行形で開発されているマシンの姿もあった。

## 性能面は当然、状況に合った仕様の設定もポイント



CROSS TALK

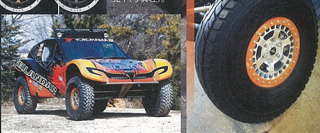
## 求めていたのはまさに“登山靴仕様のスニーカー”

### WORK SPECIAL FORGED BEADLOCK MODEL “CONCEPT T-GRABIC”

■ 近年は自らが開発・製作したマシン「Earth-Runner」等にも出場を表明している地選手。その走りを文字通り変えていたホイールは「WORK SPECIAL FORGED BEADLOCK MODEL “CONCEPT T-GRABIC”」。このホイールは市販化された「CRAG T-GRABIC」の原型となるダグスチャーモデルなの。前年モトクロス選手ヒース構造だが、競技スペシャル仕様は鍛造ヒードロック構造を採用。高剛性と軽さはもちろん、競技後もほぼ無傷で帰還したという、圧倒的な耐久性を誇る。



地選手の意向を遂げ、2015年11月15日のテストは、全2台で好評発売。突如厚皮。



路面変化に対応する性能を徹底的に追求  
「ホイールは、タイヤの性能に左右されるので、タイヤの性能に合わせたホイールを選ぶことが重要です。特に、路面変化に対応する性能を徹底的に追求する必要があります。ホイールは、タイヤの性能に左右されるので、タイヤの性能に合わせたホイールを選ぶことが重要です。特に、路面変化に対応する性能を徹底的に追求する必要があります。」

「新井選手は、前年、WRX Hにホイールを使って、ラリーの走り方、ドリフト、リフト、ジャンプ、常にタイヤが滑らないように調整しています。つまり、タイヤの寿命が常につきまとうような状況で、タイヤの性能に合わせたホイールを選ぶことが重要です。特に、路面変化に対応する性能を徹底的に追求する必要があります。」

「ホイールは、タイヤの性能に左右されるので、タイヤの性能に合わせたホイールを選ぶことが重要です。特に、路面変化に対応する性能を徹底的に追求する必要があります。ホイールは、タイヤの性能に左右されるので、タイヤの性能に合わせたホイールを選ぶことが重要です。特に、路面変化に対応する性能を徹底的に追求する必要があります。」

「ホイールは、タイヤの性能に左右されるので、タイヤの性能に合わせたホイールを選ぶことが重要です。特に、路面変化に対応する性能を徹底的に追求する必要があります。ホイールは、タイヤの性能に左右されるので、タイヤの性能に合わせたホイールを選ぶことが重要です。特に、路面変化に対応する性能を徹底的に追求する必要があります。」

「ホイールは、タイヤの性能に左右されるので、タイヤの性能に合わせたホイールを選ぶことが重要です。特に、路面変化に対応する性能を徹底的に追求する必要があります。ホイールは、タイヤの性能に左右されるので、タイヤの性能に合わせたホイールを選ぶことが重要です。特に、路面変化に対応する性能を徹底的に追求する必要があります。」

## World Class Racing Driver CROSS TALK

## 世界的レーサー [新井敏弘] × [埴 郁夫]

# 対談